

2018年3月15日

大規模災害を想定した危機管理演習の実施について

株式会社NTTロジスコ(代表取締役社長:東 明彦、本社:東京都大田区、以下 NTTロジスコ)は、東日本大震災から7年目を迎えるにあたり2018年3月9日(金)に、千葉県直下地震「最大震度6強」の発生を想定した危機管理演習を実施いたしました。

災害発生時に物流を途絶えさせることのないよう、昨年に引き続き災害時の情報伝達や設備復旧及び事業継続の対応を含めて演習を実施いたしました。

NTTロジスコは、耐震基準を上回る物流センターの整備や自家発電設備、燃油備蓄、情報システムのバックアップなど、通信インフラを担うNTTグループの一員として様々なBCP対策を講じております。東日本大震災や過去の災害において発生した事象を教訓として活かしていけるよう、今後もより一層、災害対策を強化するとともに、「災害に強い物流会社」として事業継続への対応力向上に努めてまいります。

1. 演習実施日

2018年3月9日(金)

2. 想定災害

発生日時(仮定): 2018年3月9日(金) 10:00

地震規模: 千葉県直下地震「最大震度6強」

被災センター: 千葉物流センター、平和島物流センター、神奈川物流センター、
メディカルロジスティクスセンター、埼玉物流センター

被災状況: 停電、水道管破裂による断水、通信障害、液状化現象による地面の一部陥没、
照明器具落下、保管商品の落下、倉庫内設備の故障、負傷者2名等

3. 災害対策本部設置場所

NTTロジスコ 本社 (東京都大田区平和島)

4. 訓練概要

(1) 災害発生から災害対策本部設置までの初動

(2) 被災状況の確認

- ・従業員の安否

(安否確認システムによるメール、携帯電話、固定電話への安否確認発信と受信状況の管理)

- ・負傷者の発生状況と対処状況

- ・鉄道の運行状況と帰宅困難者の発生状況

- ・倉庫建物、保管商品、倉庫内設備、情報システム等の被害状況

- ・通行規制等の道路交通状況と輸送会社の運行状況

(3) 衛星携帯電話の動作確認

(4) 事業継続への対応

- ・緊急連絡体制に基づいたお客様への状況報告

- ・お客様のご要望による緊急出荷対応と配送車両の手配

- ・災害復旧作業応援要員の手配

- ・物流センターでの発電機の始動と給電確認

- ・情報システムの電源復旧時の手順確認

<危機管理演習の様子>

1. 災害対策本部



2. 被災センターの状況把握



3. 災害対策本部長講評

